



Title	Serotonin receptors are involved in the vagal afferent transmission of exogenous ghrelin-evoked appetite sensation mediated through C-fibers
Author(s)	松永, 知恵
Citation	(2010-06-02)
Issue Date	2010-06-02
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10069/25055">http://hdl.handle.net/10069/25055</a>
Right	

This document is downloaded at: 2020-10-28T17:39:05Z

## 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 344 号	氏名	松永 知恵
学位審査委員	主 査	下川 功	
	副 査	蒔田 直昌	
	副 査	青柳 潔	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、グレリンによる摂食促進のメカニズムについて、迷走神経求心性C線維とセロトニンの関与を中心に検討したもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 ラット腹腔へのグレリンの投与、迷走神経の化学的除去、外科的切除、セロトニン受容体アンタゴニストの投与を組み合わせた生理学的研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、グレリンの短期的摂食促進効果は迷走神経求心性神経、特に胃枝を介していること、局所のセロトニンがその効果を修飾することを明らかにし、摂食行動の生理学的メカニズム解明への進展が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は、食欲の生理学的研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			